

「中小企業の景況感に関する調査」集計結果

【略称：東商けいきょう】

平成19年1～3月期

【今回調査のポイント】

中小企業の景況感はわずかに回復するも厳しい停滞感が続く（2ページ質問2参照）

○調査項目	1. 業況	: 1 ページ
	2. 売上	: 3 ページ
	3. 採算（経常利益）	: 5 ページ
	4. 資金繰り	: 7 ページ
	5. 民間金融機関の貸出姿勢	: 9 ページ

【調査の概要】

○調査期間：平成19年3月8日～3月14日

○調査対象：東京23区内の中小企業2,216社

○調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り

○回答数：888社（回答率40.1%）

※有効回答企業の業種別構成

- | | | |
|------------------|--------------------|------------------|
| ・製造業 244社（27.5%） | ・建設業 122社（13.7%） | ・小売業 153社（17.2%） |
| ・卸売業 135社（15.2%） | ・サービス業 234社（26.4%） | |

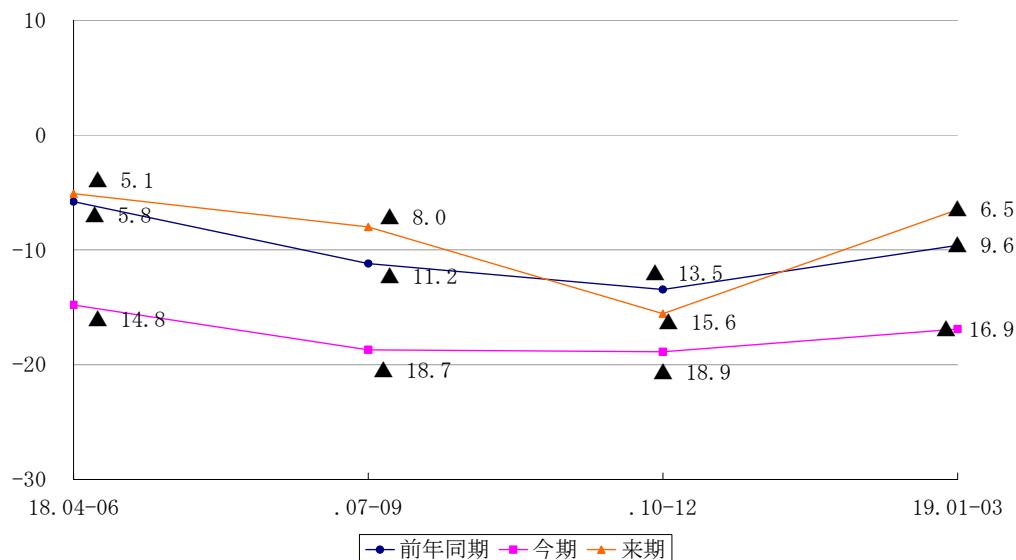
平成19年4月13日

東京商工会議所 中小企業部

1. 業況

○「今期の業況水準 DI」は、全業種で見ると▲16.9 となり、前回調査の▲18.9 から若干の持ち直しの動きをみせたものの、依然として厳しい状況が続いている。

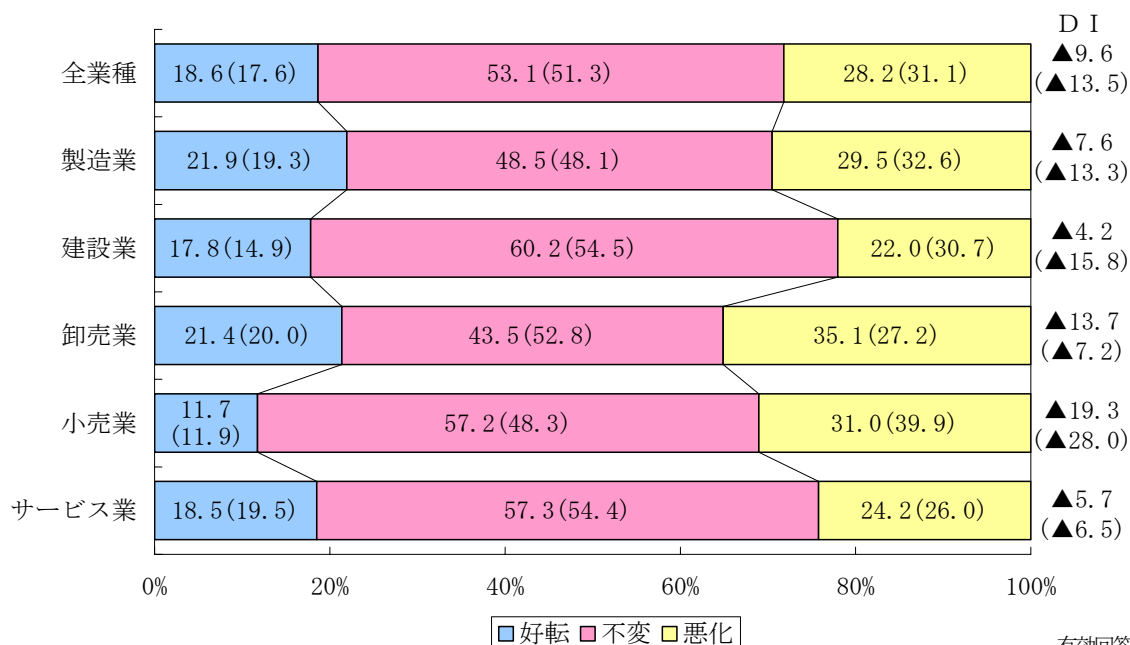
業況 DI の推移（全業種）



・「業況 DI」は、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも若干の持ち直しの動きをみせた。

【質問 1】前年同期（平成 18 年 1～3 月期）と比べた今期（平成 19 年 1～3 月期）の業況（自社）はどうですか。

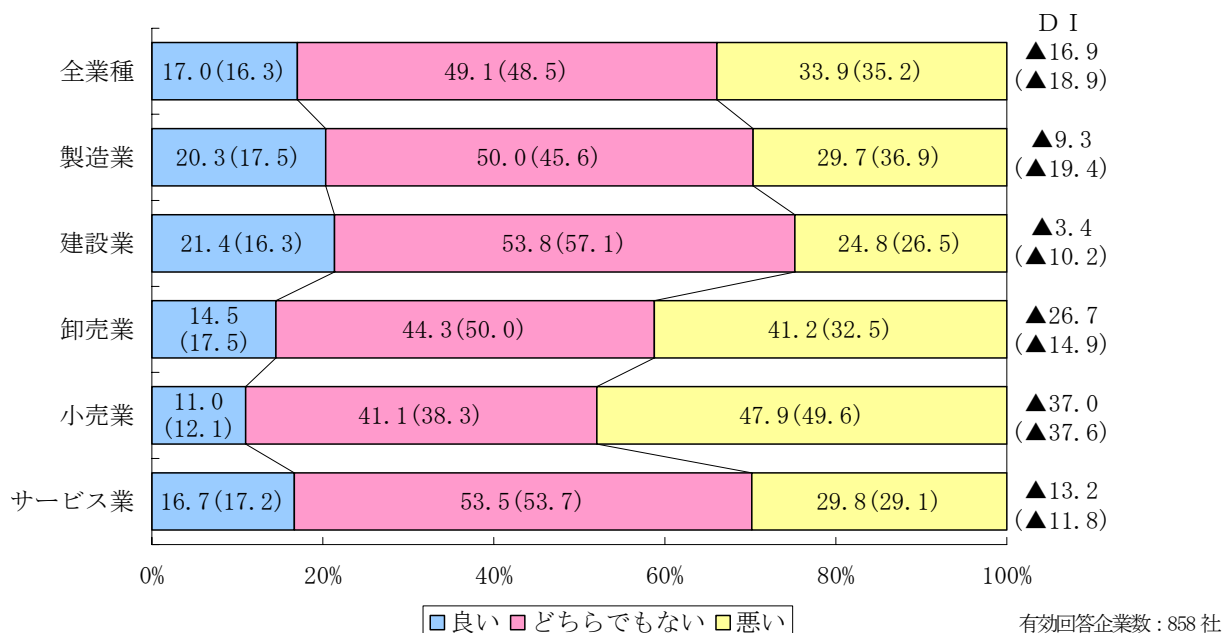
前年同期と比べた今期の業況（括弧内は前回調査値）



- ・「前年同期と比べた今期の業況」は全業種で見ると、「悪化」と回答した企業が 28.2%と、「好転」と回答した企業 18.6%を 10 ポイント近く上回っている。
- ・業種別では、卸売業と小売業において「悪化」の割合が高く、卸売業では「前年同期と比べた今期の業況 DI」が前回調査より 6.5 ポイント悪化している。

【質問2】 今期（平成19年1～3月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。

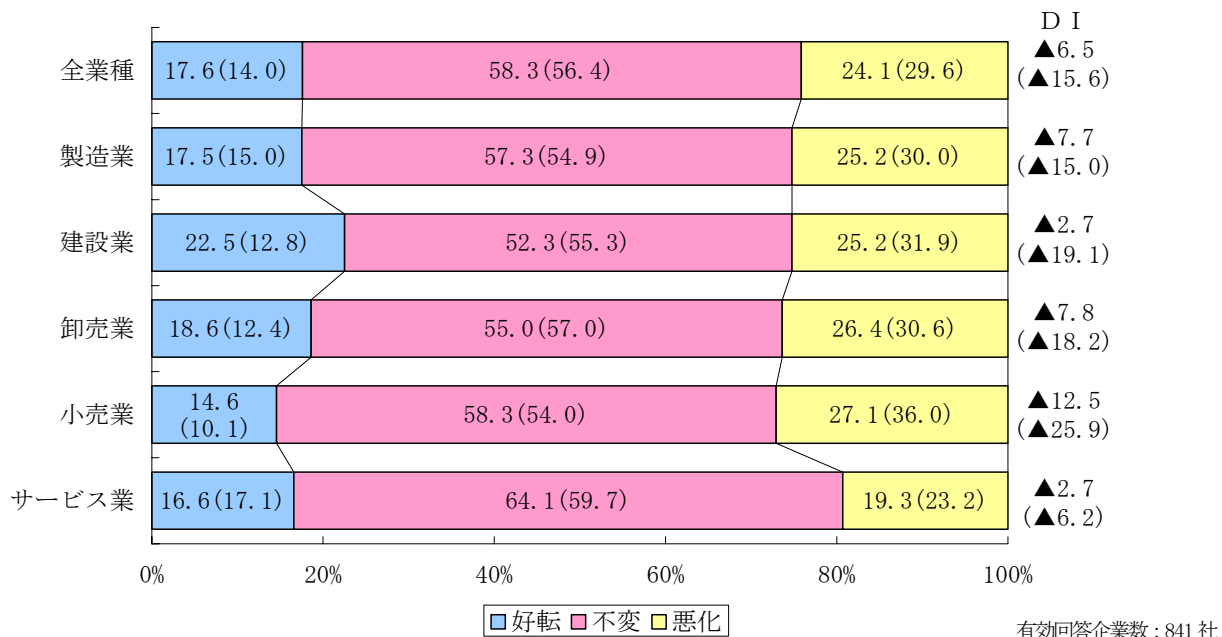
今期の業況水準（括弧内は前回調査値）



- ・「今期の業況水準DI」は、全業種で見ると▲16.9となり、前回調査の▲18.9から若干の持ち直しの動きをみせたものの、依然として厳しい状況が続いている。
- ・業種別では、他業種に比べて小売業において厳しい停滞感がみられ、「今期の業況水準DI」は▲37.0となった。

【質問3】 前年同期（平成18年4～6月期）と比べた来期（平成19年4～6月期）の業況（自社）の見通しはどうか。

前年同期と比べた来期の業況の見通し（括弧内は前回調査値）

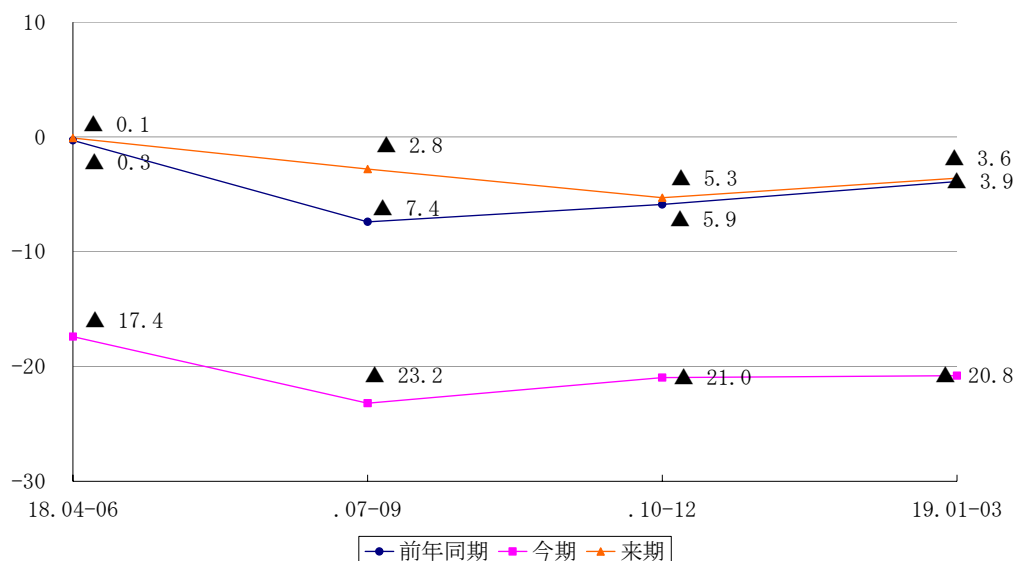


- ・「前年同期と比べた来期の業況の見通しDI」は、全業種で見ると9.1ポイント改善し、▲6.5となり、マイナス幅を縮小している。
- ・「前年同期と比べた来期の業況の見通し」は業種別では、小売業で「好転」と回答した企業が4.5ポイント改善し14.6%となったものの、他業種に比べて回復の見通しは弱い。

2. 売上

○「今期の売上水準 DI」は、全業種で見ると▲20.8 と、前回調査の▲21.0 からほぼ横這いとなり、厳しい停滞感が続いている。

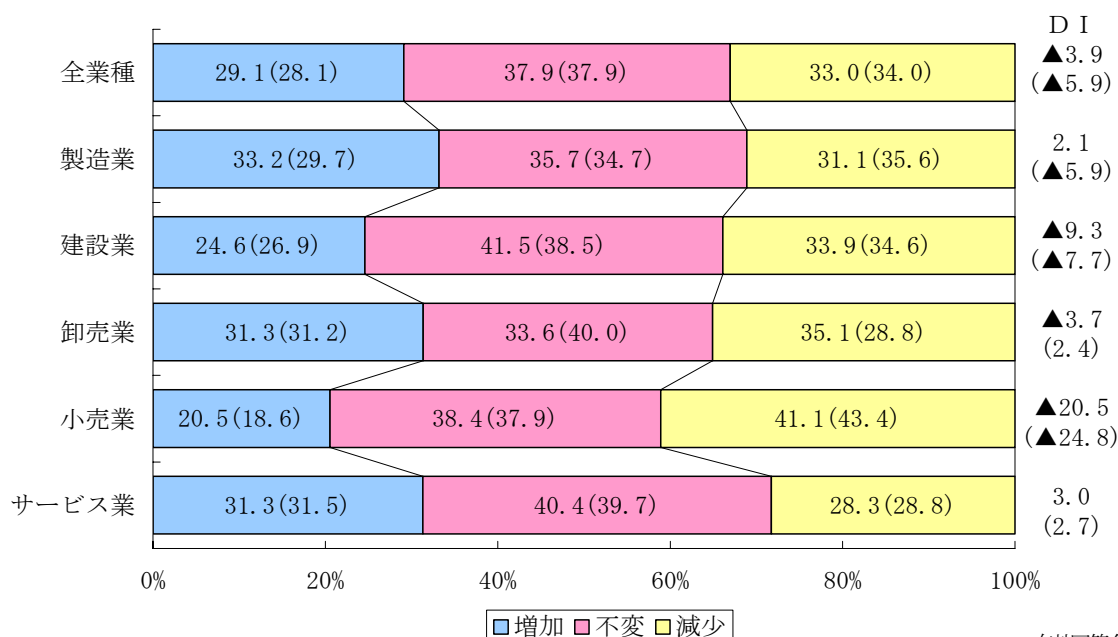
売上DIの推移(全業種)



・「今期の売上水準DI」は、全業種で見ると▲20.8 と、前回調査の▲21.0 からほぼ横這いとなり、厳しい停滞感が続いている。

【質問4】前年同期（平成18年1～3月期）と比べた今期（平成19年1～3月期）の売上状況はどうですか。

前年同期と比べた今期の売上状況（括弧内は前回調査値）

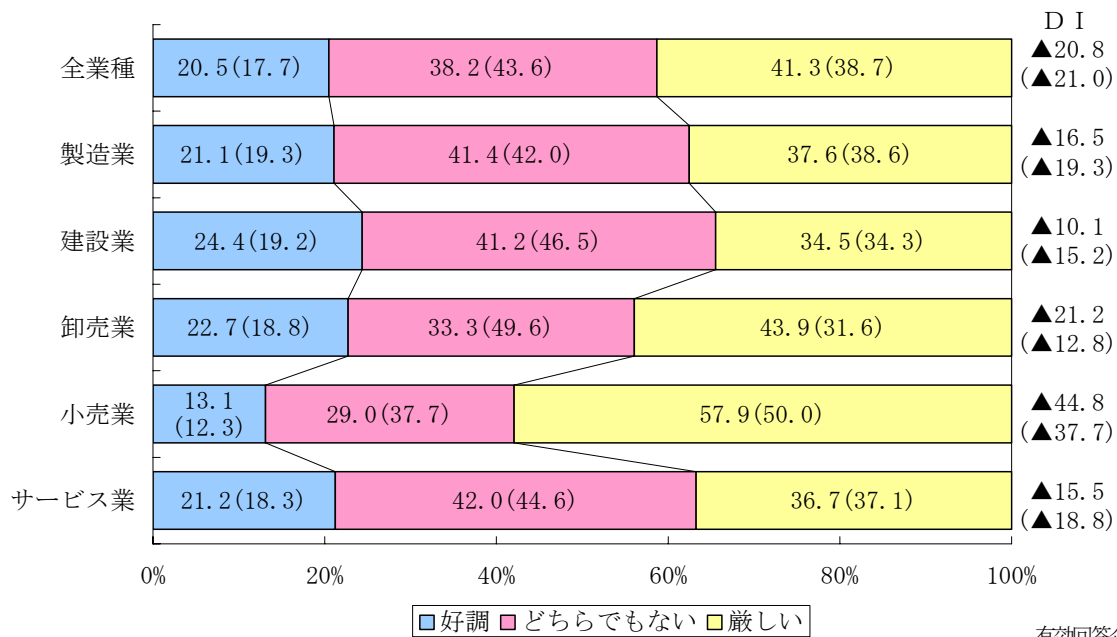


・「前年同期と比べた今期の売上状況 DI」は、全業種で見ると2期続けての改善となり、前回調査からは2ポイント上昇した▲3.9となっている。

・業種別では、他業種に比べて小売業において特に厳しい状況が続いている。

【質問5】 今期（平成19年1～3月期）の売上水準をどのように感じますか。

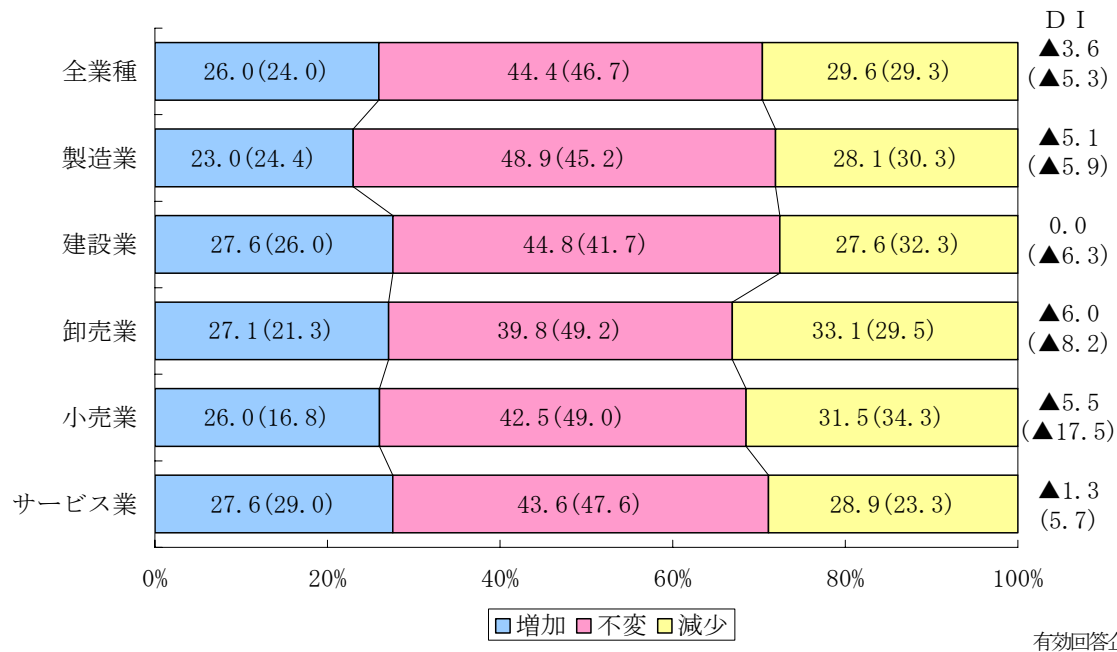
今期の売上水準（括弧内は前回調査値）



- ・「今期の売上水準」は全業種で見ると、4割の企業が「厳しい」と回答している。
- ・業種別では、小売業において「厳しい」と回答した企業が57.9%と半数を超え、悪化度合いが強まっている。

【質問6】 前年同期（平成18年4～6月期）と比べた来期（平成19年4～6月期）の売上の見通しはどうですか。

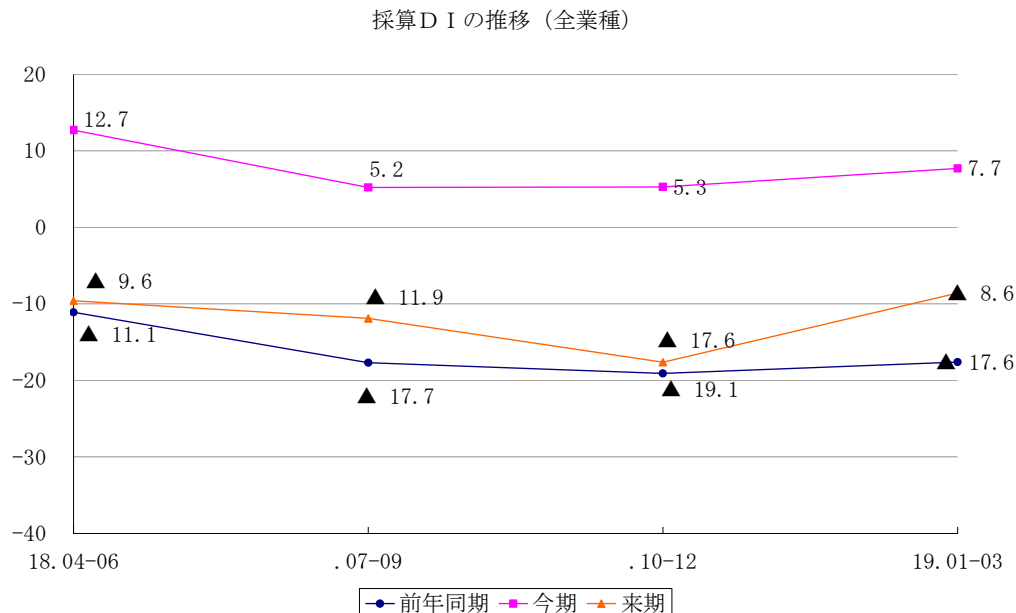
前年同期と比べた来期の売上の見通し（括弧内は前回調査値）



- ・「前年同期と比べた来期の売上の見通し DI」は全業種で見ると、前回調査に比べて若干の改善がみられ、▲3.6 となった。
- ・「前年同期と比べた来期の売上の見通し」は業種別では、卸売業とサービス業において「減少」と回答した企業が前回調査に比べて増えている。

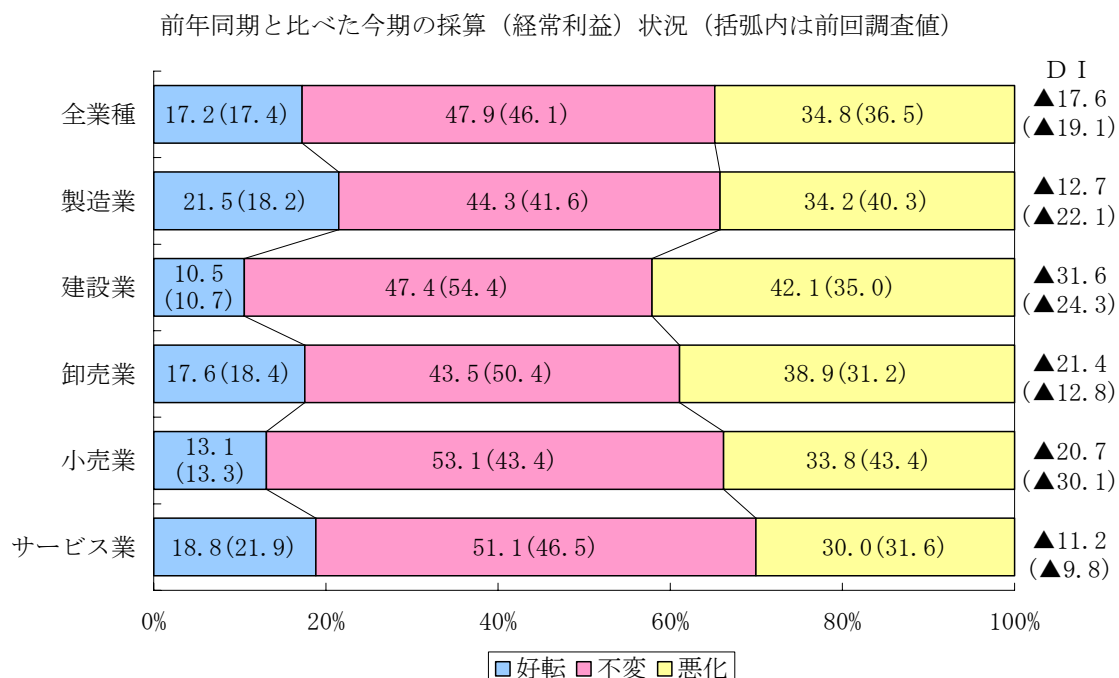
3. 採算（経常利益）

○「今期の採算水準DI」は、全業種で見ると7.7となり、前回調査の5.3からやや改善がみられる。



- ・「採算DI」は、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも若干ではあるが持ち直しの動きがみられる。

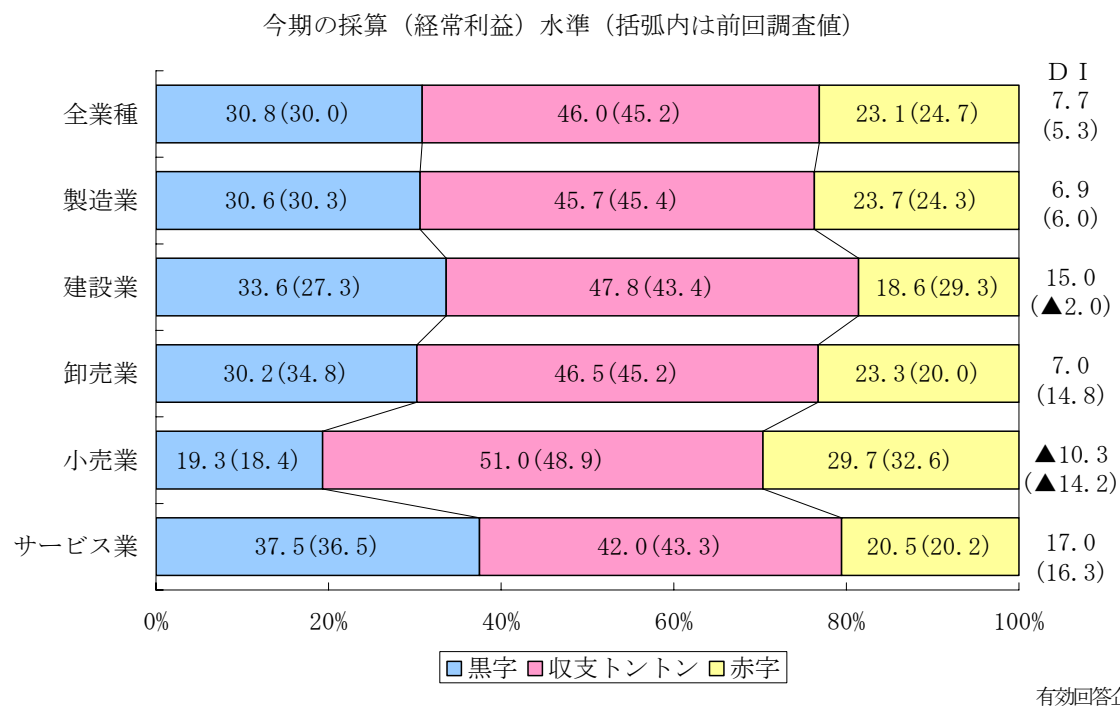
【質問7】前年同期（平成18年1～3月期）と比べた今期（平成19年1～3月期）の採算（経常利益）状況はどうですか。



有効回答企業数：841社

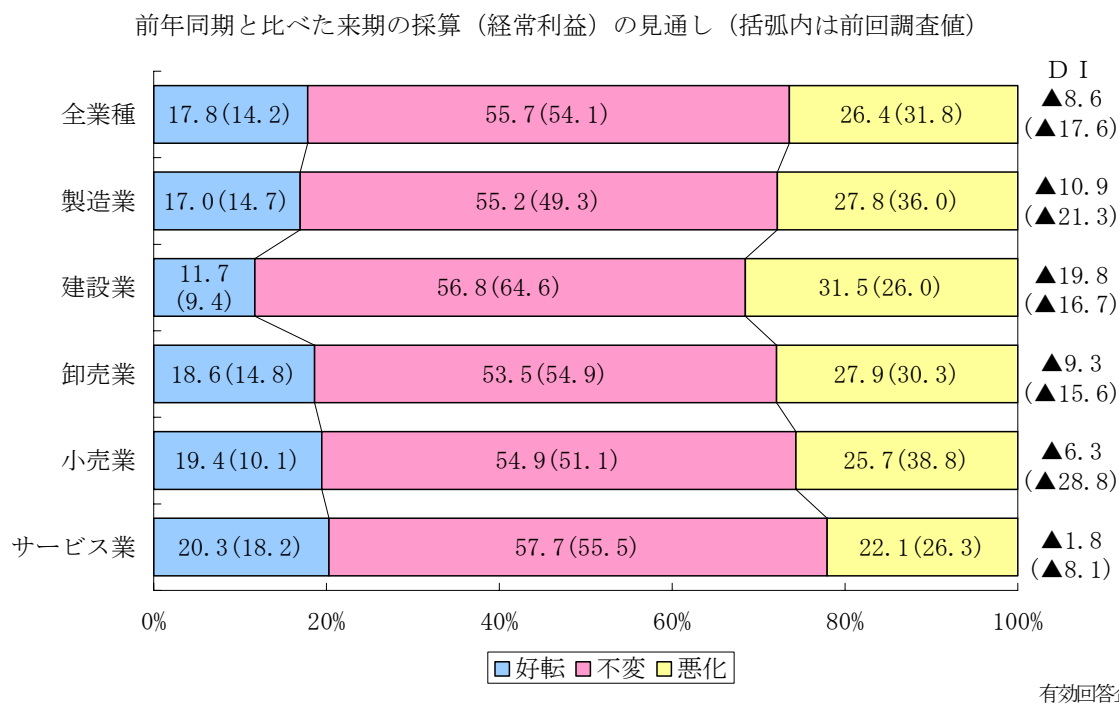
- ・「前年同期と比べた今期の採算」は全業種で見ると、「悪化」と回答した企業が34.8%で、「好転」と回答した企業17.2%を大きく上回っている。
- ・業種別では、建設業と小売業において「好転」と回答した企業の割合が少ない。

【質問8】 今期（平成19年1～3月）の採算（経常利益）水準はどうか。



- ・「今期の採算水準DI」は、全業種で見ると7.7となり、前回調査の5.3からやや改善がみられる。
- ・業種別では、小売業のマイナス幅が大きく、厳しい停滞感が続いている。

【質問9】 前年同期（平成18年4～6月期）と比べた来期（平成19年4～6月期）の採算（経常利益）の見通しはどうか。

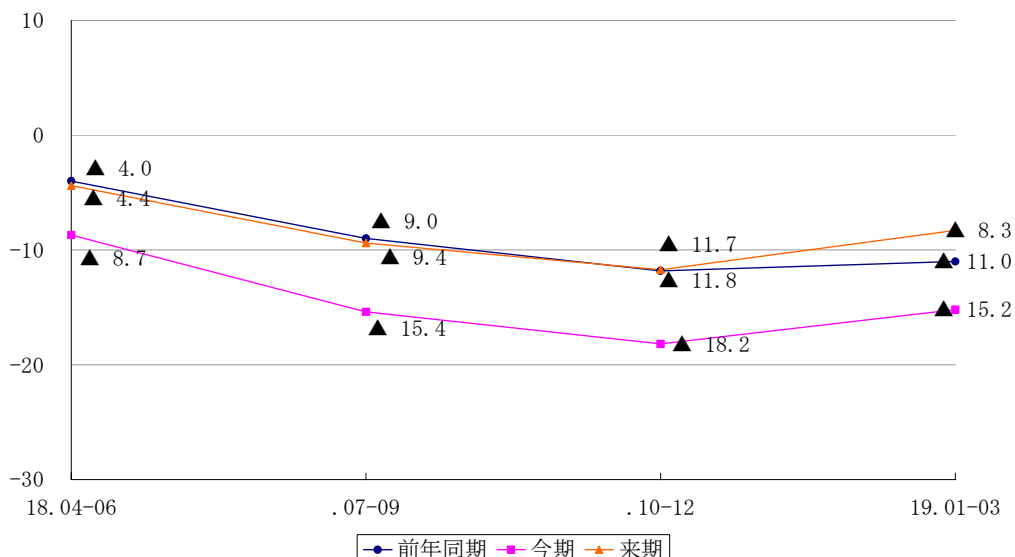


- ・「前年同期と比べた来期の採算見通し」は全業種で見ると、「悪化」と回答した企業が26.4%と、「好転」と回答した企業17.8%を上回っている。
- ・業種別では、特に建設業で「悪化」とする企業の割合が高い。

4. 資金繰り

- 「前年同期と比べた来期の資金繰りの見通し DI」は、全業種で見ると前回調査の▲11.7から▲8.3となり、わずかながら改善に転じている。
- 「今期の資金繰り水準」は、全業種で見ると「厳しい」と回答した企業が29.0%で、「緩い」とする企業13.8%を大きく上回っている。

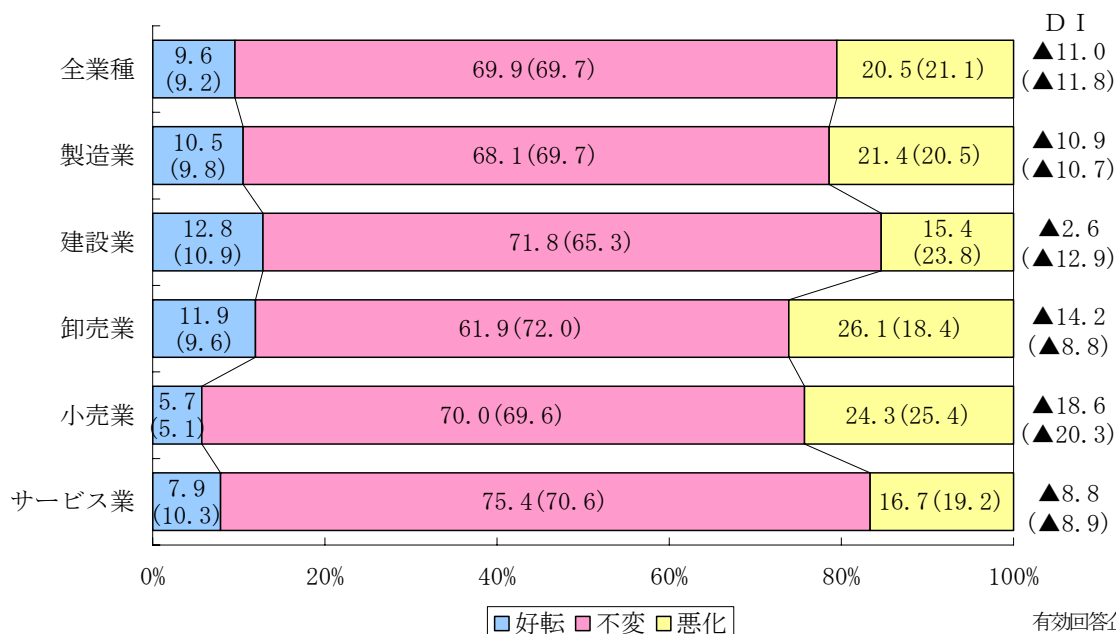
資金繰り DI の推移（全業種）



- ・「前年同期と比べた来期の資金繰りの見通し DI」は、全業種で見ると前回調査の▲11.7から▲8.3となり、わずかながら改善に転じている。

【質問10】前年同期（平成18年1～3月期）と比べた今期（平成19年1～3月期）の資金繰り状況はどうか。

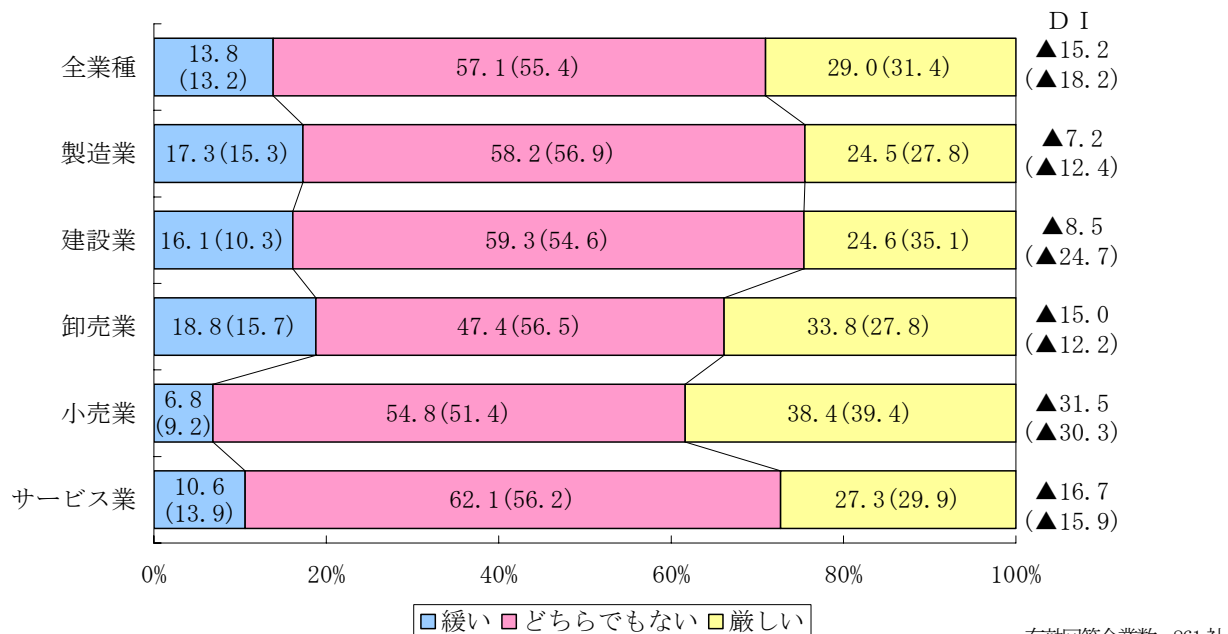
前年同期と比べた今期の資金繰り状況（括弧内は前回調査値）



- ・「前年同期と比べた今期の資金繰り」は、全業種で見ると「悪化」と回答した企業が20.5%で、「好転」と回答した企業9.6%を大きく上回っている。
- ・業種別では、小売業と卸売業で厳しい状況が続いている。

【質問１１】 今期（平成 19 年 1～3 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。

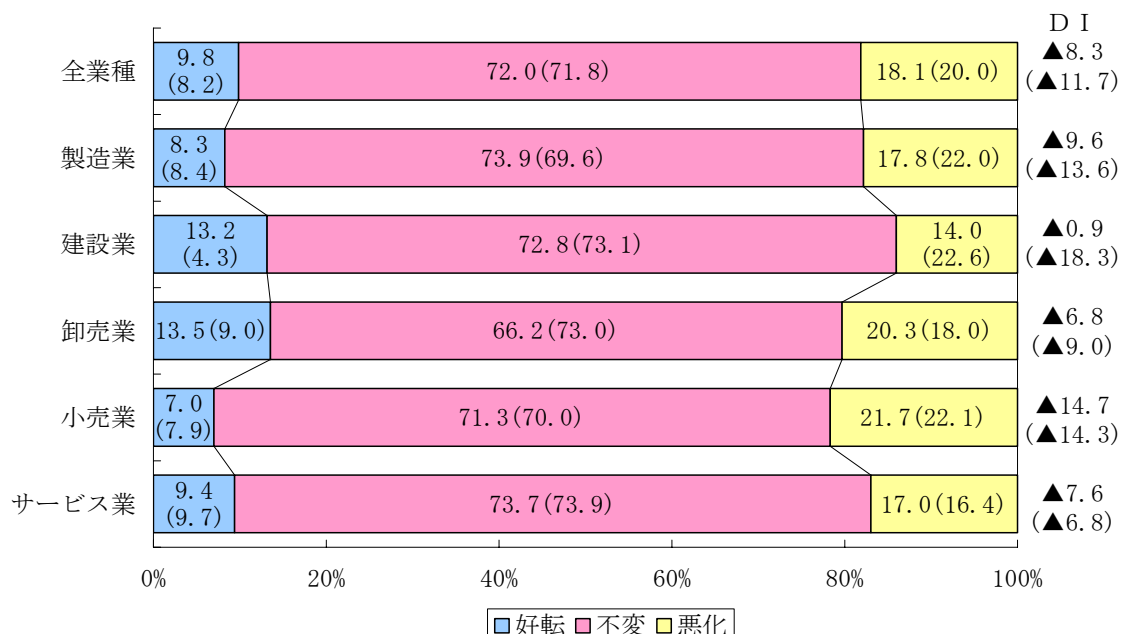
今期の資金繰り水準（括弧内は前回調査値）



- ・「今期の資金繰り水準」は、全業種で見ると「厳しい」と回答した企業が 29.0%で、「緩い」とする企業 13.8%を大きく上回っている。
- ・業種別では、小売業と卸売業で厳しさが目立っており、特に小売業では「緩い」と回答した企業は前回調査より 2.4 ポイント悪化した 6.8%にとどまる。

【質問１２】 前年同期（平成 18 年 4～6 月期）と比べた来期（平成 19 年 4～6 月期）の資金繰りの見通しはどうか。

前年同期と比べた来期の資金繰りの見通し（括弧内は前回調査値）

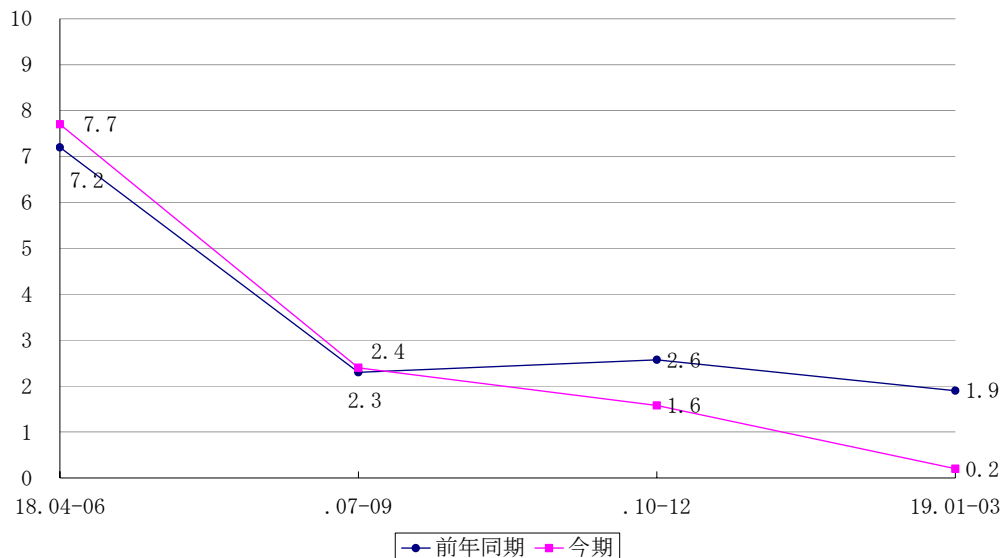


- ・「前年同期と比べた来期の資金繰り見通し DI」は、全業種で見ると前回調査の▲11.7 から▲8.3 となり、わずかながら改善に転じている。
- ・業種別では、小売業で悪化傾向がみられる。

5. 民間金融機関の貸出姿勢

○「今期の民間金融機関の貸出姿勢の水準DI」は全業種で見ると、前回調査より1.4ポイント低下し、悪化度合いが強まっている。

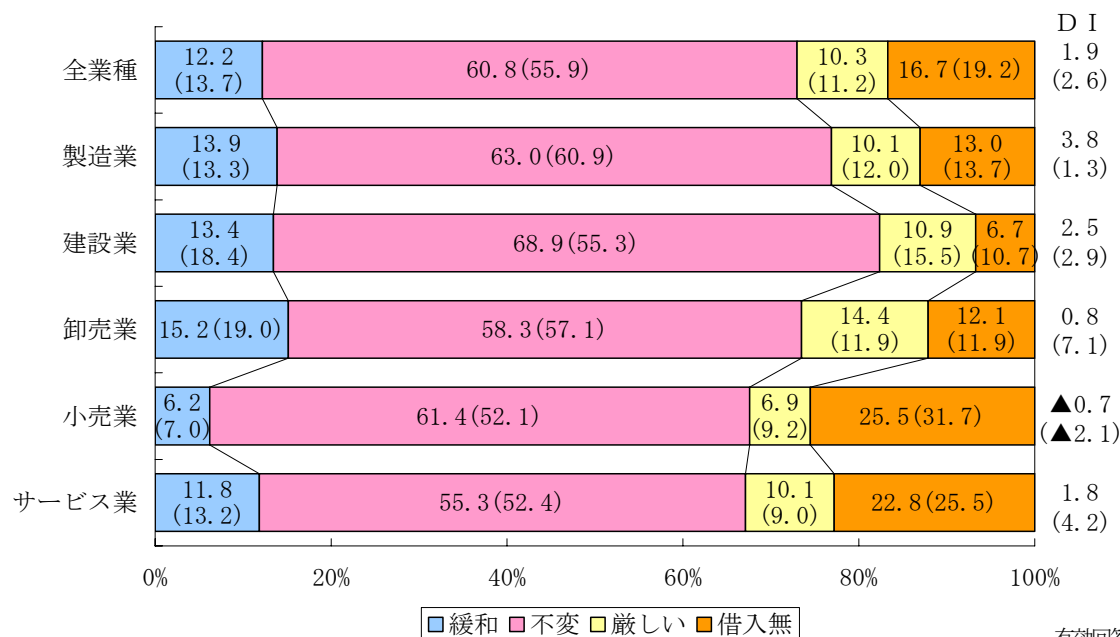
貸出姿勢DIの推移（全業種）



・「今期の民間金融機関の貸出姿勢の水準DI」は全業種で見ると、前回調査より1.4ポイント低下し、悪化度合いが強まっている。

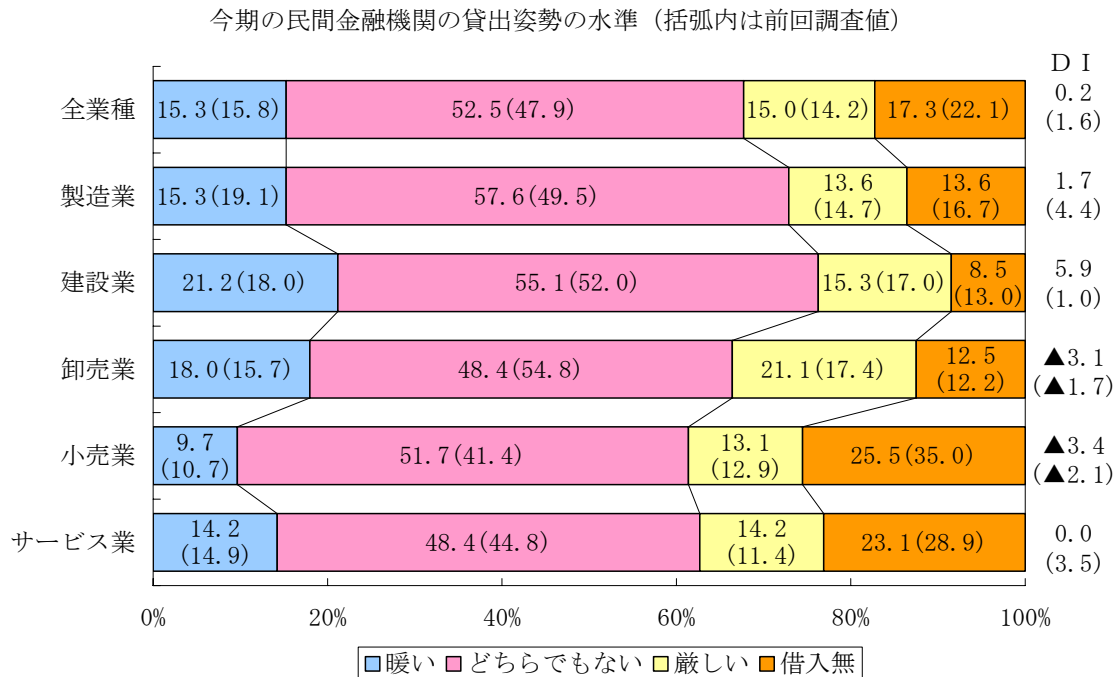
【質問13】 今期（平成19年1～3月期）の民間金融機関の貸出姿勢は、前年同期（平成18年1～3月期）と比べて変化がありましたか。

前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢（括弧内は前回調査値）



- ・「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は、全業種で見るとわずかながら悪化に転じている。
- ・「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢」は業種別では、小売業において「緩和」と回答した企業が6.2%と、特に少ない。

【質問１４】今期（平成１９年１～３月期）の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



有効回答企業数：852 社

- ・「今期の民間金融機関の貸出姿勢の水準」は、全業種で見ると「緩い」と回答した企業が 15.3%、「厳しい」と回答した企業が 15.0%となり、ほぼ均衡している。
- ・業種別では、小売業と卸売業で厳しい状況が続いている。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「厳しい」「赤字」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 本集計結果における前回調査とは、平成18年10～12月期調査を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。